



ウサギはうんこを食べる

牛や羊などの草食動物は「反芻」と言って、いったん大量の食物（草食）を胃に置いて、口の中にもどして咀嚼し再び胃（牛は4つの胃があります）に戻してゆっくり消化吸収しています。

ウサギは大量の草を食べて自分の巣にもどり、2～3時間後に肛門からポロポロの粒状のうんちを出し、ゆっくりなめるように食べます（糞再食）。

この便は一旦食べた草が消化され腸内細菌が含まれた便であり、再食した便は腸の中で栄養分となり

ゆっくり吸収され本当のウンチが出ます。牛や羊のように反芻のかわり一旦肛門から

半消化状態として出した後ゆっくり食べ直して消化吸収しており、

反芻と再食は草食動物が天敵から身を守り、効率よく餌を食べて吸収する同じ行動といえます。

